

BEENET ASIA の国際会議 マレーシアで

1995年3月11～15日に、北マレーシアのペ
デュ湖畔で、Beenet Asia がマレーシア農科大
学、カナダ国際開発センターと共催で開催する。

Beenet Asia はマレーシア農科大学のマル
ダン教授が中心となり、東南アジア諸国の養蜂
の普及、発展のための活動を繰り広げている。
今回は会議の前(11日)に行われる伝統的なオ
オミツバチの採蜜風景、ハニーハンティングの
見学が企画されている。詳細は玉川大学ミツバ
チ科学研究施設まで。

第7回国際無脊推動物 生殖学会議

標記の会議 (7th International Congress
on Invertebrate Reproduction) が1995年8
月5日～11日、米国・カリフォルニア・サン
タクルズ、カリフォルニア大学・サンタクルズ
校で開催される。

詳細連絡先は、Dr. John Pearse, 7th ICIR, Insti-
tute of Marine Sciences, University of Califor-
nia, Santa Cruz, CA 95064, USA.

玉川大学ミツバチ科学研究施設から

蜂ろうに関する放映

1994年7月23日、テレビ朝日の「紺野美沙
子の科学館」で「ハチの巣のロウソク」と題し
た蜂ろうに関する放映があった。「ミツバチ科
学」15巻3号に執筆いただいた山形県、安藤竜
二氏の蜜ろうそくの取り組みと当施設で収録さ
れた巣づくりなどの生態について、吉田忠晴助
教授が解説した。特に働き蜂の腹部から直接分
泌された鱗片ろうを集めて造ったろうそくに灯
がともった様子に感動したとの声が寄せられ
た。

スズメバチに関する報道、放映

今年のスズメバチ類の大発生とその被害が
度々新聞、テレビで報道されているが、1994
年8月6日、朝日新聞夕刊に「スズメバチが都
内で大発生」との記事が掲載され、小野正人講
師が解説した。

1994年9月28日には、「スズメバチ大発生
一なぜ都会で増えるのか」と題して、NHKの
「クローズアップ現代」で放映された。昆虫学研
究室でのスズメバチの生態についての収録を含
めて、小野正人講師が出演した。

スタッフの動向

竹中哲夫助教授は、4月1日付けで教授に昇
格した。

新島恵子助教授は、カリフォルニア大学とコ
ーネル大学での1年間の留学を終えて、8月
29日帰国した。

中村 純講師は、9月14日～12月17日の
間、ブラジル・アマゾン農業研究協力計画短期
専門家としてブラジルに出張。パラ州における
経済性作物(ブラジルナッツなど)の受粉昆虫
の調査・同定、受粉昆虫の飼育法に関する技術
指導に3か月間従事。

編集後記

プロポリスの研究に携わっている方々から寄稿
いただき、3編の論文を掲載することができた。松
田氏には FFI ジャーナルに発表された論文の転
載、新井・栗本氏、伊藤氏ほかには、医学的見地か
らのプロポリスの効果について紹介いただけたこ
とに感謝したい。インドネシアでの AAA 大会は
成功裡に終了することができ、AAA の今後の活動
に大きな励みを改めて感じた会議であった。アジ
ア諸国の養蜂関係者が一同に会する AAA 大会
は、次回は1996年にベトナムで開催されるが、今
から楽しみである。(忠)